

キャリアプロジェクト啓

Kei だより

2023

佐野東高校では、3年間を通して「キャリアプロジェクト啓」に取り組めます。

今回は 2 学期の取り組みを紹介します。まずは 1 年生の活動の様子です。

◆学校祭における中間発表 1 年生は佐野市の課題を知るため、全員が佐野市の良い点と課題点について様々なスポットを写真に撮り、9 月 2 日（土）の葉聖里祭にて展示発表しました。これらの作品すべてを出光興産主催第 19 回環境フォト・コンテスト「わたしのまちの〇と×」に応募し、学校団体賞優良賞を受賞しました。

◆1 年生大学・企業訪問 11 月 19 日（木）東京都内の 5 大学、13 の企業を訪問しました。事前に訪問する大学や企業について調べ、疑問に思ったことを現地でインタビューするなど主体的な取組により、自分自身の進路選択に繋がりました。



2 年生 Kei ゼミ始動

◆ 2 年生は 10 のゼミに分かれての活動となりました。7 月にゼミを決定し、9 月から 12 月は実地研修や各自での研究に取り組みました。（詳細は次頁）1 月にはポスター発表が控えています。ご指導いただいた大学・地域の皆様に感謝の意を込めて、よりよい研究報告を目指しましょう。



3 年生進路実現に向けて

◆ 夏休みの三者面談において、進路プレゼンテーションを実施し、進路実現に向けての決意表明をしました。

◆ 9 月～11 月にかけて総合型選抜・学校推薦型選抜が行われ、約半数の生徒が入試本番に臨みました。志望理由書や面接の中で、これまでの「総合的な探究の時間」での取組を述べる生徒が多くいました。1、2 年生も 1 年後、2 年後の自分を思い描き、Kei プロジェクトに意欲的に取り組むことで未来をひらきましょう。

「キャリアプロジェクト啓」とは？

佐野東高校では、「キャリアプロジェクト啓」と称する探究型キャリア教育に取り組んでいます。生徒一人ひとりが自身の適性や興味関心に応じて、課題を設定し研究を重ねることで、キャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力の育成を目指しています。大学や企業等との連携や協働により、自ら設定した課題をより深めるとともに、社会の一員としての自覚を持ち、自己実現を図ることをねらいとしています。特に「総合的な探究の時間」での一連の活動を“Kei”と呼び、3 年間を通じて自分自身の進路に向き合います。

教員研修会



◆ 11 月 14 日（火）「キャリアプロジェクト啓」をよりよいものにするために、先生たちの研修会を実施しました。講師として教育コーディネーター・桜美林大学高大連携コーディネーターの今村亮先生にご来校いただき、探究学習の意義についてお話いただきました。ペアワークにも取り組み、生徒のみなさんに還元できるアクティブな学びを経験しました。

大学・企業訪問一覧

【大学】

慶応大学・上智大学
明治大学・法政大学
東京理科大学

魅力的なキャンパスで大学生や職員方々のお話を聞き、主体的に進路選択に向かうことの大切さを実感しました。

【企業】

マヨテラス ハーゲンダッツ本社
朝日新聞社東京本社 丸紅 帝国書院
JICA 地球ひろば 外務省 警視庁本部
クラシエ 大塚製薬東京本部 大鵬薬品工業
Kawasaki Robostage 日本弁護士連合会

各企業の理念や社会における役割を知るとともに、社会人として必要な力や高校生の今取り組んでおくべきこと等についての話を聞くことができました。



2年 Kei ゼミ実地研修報告

機械ゼミ

足利大学工学部 松下政裕教授の研究室を訪問しました。1回目の訪問（9月15日）では、研究室の見学と、各自が準備した研究計画書の発表を行いました。1回目の発表で個々にいただいたアドバイスをもとに研究を進め、2回目（10月6日）、3回目（11月24日）で進捗状況を報告しました。段差を自力で昇降できる車イスの開発を試み、縮小模型を作成しシミュレーションを行う生徒もいました。



自然科学ゼミ

9月15日足利大学工学部 加治屋大介教授の研究室を訪問しました。各自が研究計画書をもとにプレゼンテーションを行いました。「再生チョークを作ろう」や「光で色をつくる」といった化学分野と、「アライグマの被害を減らす」のような生物分野の研究があり、生物分野についてはアドミッションセンターの青柳育夫先生にもご助言をいただきました。10月20日と12月1日には2つのグループに分かれて参加し、さらに詳細なアドバイスをいただくことができました。



建築土木ゼミ

10月6日、10月20日、12月1日の3回足利大学工学部 西村友良教授の研究室にてゼミを行いました。実験・まとめ・発表という研究のプロセスを段階的に学ぶことができました。「粒子の大きさと水の関係」について、実験の方法やスライドの作成、プレゼンテーションの仕方等も教えていただきました。実験により粒子の大きさと水の関係を調べ、実生活にどのように応用できるかを考えました。専門的な知識はもちろん、自分一人では思いつかない視点を知ることができました。



電気電子ゼミ

10月20日、12月22日の2回足利市にあるカワサキロボットサービス株式会社関東サービスセンターを訪問しました。事業内容についての講義を受け、施設の見学やロボットの操作体験を行いました。また、電気電子ゼミでは小山市で行われた「2023 ロボットアイデア甲子園栃木県大会」に参加し、1名が小山市長賞を受賞しました。



まちゼミ・国際ゼミ



10月13日佐野市総合政策部の湯澤昭啓様、関口俊治様に事前に提出した研究計画書についてご助言をいただきました。佐野市の課題とともに、RESAS（地域経済分析システム）を活用し研究を進めることをご提示いただきました。また、「観光甲子園 2023 SDGs 修学旅行部門」に参加したまちゼミ3名が全国 509 チームから上位 20 チームに選ばれ、準決勝進出を果たしました。佐野や足利の魅力を伝える企画書作成に際し、佐野市の商工会議所や観光協会の皆様にもご協力いただきました。

10月20日大栗保育園において保育体験を実施しました。3～5歳の園児と触れ合った経験をもとに、佐野日本大学短期大学こどもフィールド 秋山真奈美准教授のご指導で、各自の研究テーマを見直しました。先行研究を調べることの重要性も学びました。11月24日に再び短大を訪問し、研究を深めました。

こどもゼミ



11月24日佐野日本大学短期大学栄養士フィールドの藤田睦教授に來校いただきました。各自がこれまで進めていた研究についてプレゼンテーションを行い、今後の研究の進め方についてアドバイスをいただきました。高校生の食生活や身近で取り組める食品ロス等についてのアンケート調査、また鉄分を多く含むレシピや時短で作れる弁当レシピなどの考案に取り組んでいます。

栄養ゼミ



教育ゼミは、夏休み中の4日間において佐野小学校、佐野こどもクラブ、天明こどもクラブ、

教育ゼミ



城北こどもクラブでの学習支援ボランティアに参加し、多くの児童と触れ合いました。学習支援だけでなく、各自が事前に遊びやゲームを考えて臨み、笑顔で児童に寄り添う姿にこどもクラブの職員の方々からもお褒めの言葉をいただきました。

医療ゼミにおいては、各病院の看護体験への参加を推奨しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れ先が限られており、参加は難しかったようです。次年度は、大学等との連携により体験活動ができる体制を整えたいと思いますので、ぜひ参加してください。研究テーマとしては、高校生の心身の状態やコロナウイルスに関連した内容などが多く見られます。

医療ゼミ



❖ おわりに ◆各学年とも2学期は大きな取組がありました。それらを通して自分自身の進路がより明確になったのではないのでしょうか。1月には発表会を予定しています。自分自身の言葉で、これまでの社会課題への取組と自分の夢を結びつけ、熱く語ってください。言葉にすることで夢に近づくことができると思います。一般選抜に向かう3年生は、これまでの取組すべてが力になると信じて、最後まで頑張ってください。◆「総合的な探究の時間」の活動の通称は“Kei”です。保護者や地域のみなさんにも知ってもらえるよう積極的に使ってください。（文責 早川）